

## はしがき

「郷土諸家目録5」として「小野家文書目録」をお届けすることとなりました。

この目録は、新居浜市松神子小野祥治氏が所蔵されておりました庄屋文書であり、このたび当館に寄託されたものであります。

文書は万治3年(1660)から明治39年(1906)にいたるもので、内容は藩政、村政……等あらゆる分野にわたり、その数量は2万点を超え、既刊の目録のうちでも最大のものとなっております。

当家は、代々庄屋役を勤めましたほか、塩業・酒造業・金融業なども営まれていたため、この種の史料が多数残存しております。これは、かつての文書にみられなかった特徴となっております。なお、詳細につきましては末尾の解題をご覧くださいと存じます。

この貴重な文書をご寄託いただきました小野祥治氏のご厚志に深く感謝申し上げます。

県民各位の郷土史への関心は日々高まりつつあり、当館でもこれに応ずるべく郷土資料の保存、普及を図っております。この目録が、郷土史研究のための一資料として広くご活用いただけますならば幸であります。

この文書の調査整理につきましては、初刊より戒田栄先生のご指導をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

昭和55年3月21日

愛媛県立図書館長  
中村 正